

川崎市知的財産戦略推進プログラム

— 2022（令和4）年度～2025（令和7）年度 —

知的財産戦略推進プログラムの更新について

本市では、知的財産を活用した産業振興の方向性を定めた「川崎市知的財産戦略」を2018（平成30）年3月に改定し、同戦略の実現に向けた戦略的・体系的な施策群として2018（平成30）年度から2021（令和3年）年度までの4年間を対象期間とする「知的財産戦略推進プログラム」を策定しました。

本年度をもって、上記プログラムが策定から4年の期間が経過するにあたり、国の「知的財産推進計画2021」や「川崎市知的財産戦略」の基本方針を踏まえつつ、「川崎市総合計画」第3期実施計画や「かわさき産業振興プラン」第3期実行プログラムとの整合性を図り、2022（令和4）年度から2025（令和7）年度までの4年間を対象として「知的財産戦略推進プログラム」を更新しました。

目次

知的財産戦略推進プログラム	1
1 期間	1
2 目的	1
3 推進体制	1
4 体系	1
5 知的財産戦略推進プログラム	2
資料編	6
1 川崎市知的財産交流事業	6
2 知的財産交流事業での他都市との連携状況	7
3 知的財産交流事業における成約事例	7
4 新聞掲載一覧	11

知的財産戦略推進プログラム

1 期間

このプログラムが対象とする期間は、2022（令和4）年度から2025（令和7）年度までの4年間としています。

2 目的

このプログラムは、「川崎市知的財産戦略」の基本方針を実現するため、同戦略で定められた7つの施策を踏まえ戦略的・体系的に26事業を具体化したものです。

新型コロナウイルス感染症の拡大や海外情勢など、社会経済環境が非連続で変化する中、市内事業者の経営は厳しい状況が続くものと見込まれることから、知的財産の活用を通じて構築してきた事業者・大学などの市内外のネットワークを効果的に活用し、付加価値の高い製品の創出や販路拡大等を促進し、本市産業の活性化に向けた各種事業を体系的に推進します。

3 推進体制

本市においては、プログラムの効果的な実施のために、「川崎市知的財産戦略」の推進や施策立案、各事業の見直しを図るとともに、経済産業省、特許庁、日本弁理士会などの外部機関との連携を推進します。また、各施策の着実な実施と広報等による情報発信を積極的に行い、企業や市民への浸透を図ります。

公益財団法人川崎市産業振興財団においては、総合的な相談支援サービスの提供機関として市内中小企業の経営状況を的確に把握し、支援を必要とする中小企業に対して、知的財産の活用をはじめとする各種支援策につなげることにより、市内中小企業の課題解決や競争力の強化を図り、持続可能な経営につなげます。具体的には、出張キャラバン隊などの企業活動訪問を一層強化して取り組みを推進します。

4 体系

<基本方針>	<施策>	<事業>
基本方針1 知的創造サイクル (創造・保護・活用)の推進	(1)新技術・新製品開発支援	①研究開発の支援 ②産学官研究開発体制の構築
	(2)相談・コンサルティング	①窓口相談、専門家派遣及び企業訪問の強化 ②市有特許の活用促進
	(3)国際化支援	①国内外の社会経済環境の変化に対応した海外展開支援 ②国際展開における相談・情報提供機能の提供
基本方針2 知的財産を尊重する風土の醸成	(4)人材育成	①知的財産スクールの実施(重点事業) ②セミナーの実施 ③研究会の実施 ④科学技術に関するセミナーの実施 ⑤基盤技術の高度化やデジタル技術の活用に関する研修の実施 ⑥科学技術・知的財産教育
	(5)知的財産モラルの醸成・発信	①身近に知的財産にふれる機会の提供 ②市民向け生涯学習講座の実施 ③職員の意識向上
基本方針3 川崎モデルの知的財産交流の推進	(6)技術移転・交流促進	①知的財産交流会(知的財産マッチング支援)の実施(重点事業) ②知的財産シンポジウムの実施(重点事業) ③中小企業と大学の連携の促進 ④環境技術情報の収集・発信 ⑤かわさき科学技術サロンの実施 ⑥成長分野における交流の促進 ⑦中小企業とクリエイター・デザイナーの連携の促進
	(7)事業化支援	①ブランド化の支援 ②販路開拓の支援 ③資金調達の支援 ④ビジネスオーディションの開催

5 知的財産戦略推進プログラム

(1) 新技術・新製品開発支援

① 研究開発の支援

中小企業が行う新技術・新製品開発や大学等との共同研究開発、福祉製品等の開発・改良に要する経費を補助します。また、補助事業に必要な特許等の利活用に要する経費も併せて補助対象とします。また、環境分野においては、産学公民連携による共同研究を実施し、環境研究の場の提供や環境技術開発等の契機を創出することで環境技術等の研究・開発を支援します。

② 産学官研究開発体制の構築

公益財団法人川崎市産業振興財団が有する産学官ネットワークとコーディネート支援機能を活かし、中小企業・大学の連携による戦略的な研究開発プロジェクトの創出を図ります。

(2) 相談・コンサルティング

① 窓口相談、専門家派遣及び企業訪問の強化

知的財産に関する窓口相談を実施します。また、出張キャラバン隊などの企業訪問活動や専門家派遣によって、知的財産に関する施策の紹介や診断・助言、知的財産戦略策定の支援等を行います。中小企業に対して、各種支援策の積極的な活用を促進することで、知的財産活用による競争力の強化や、自らが創造した知的財産の権利化・保護を図ります。

② 市有特許の活用促進

本市が行う研究活動を通じて生み出された保有する特許等について積極的に情報発信を行うとともに、市内企業によるそれらの活用に関する相談機能を強化します。

(3) 国際化支援

① 国内外の社会経済環境の変化に対応した海外展開支援

成長著しいASEAN等多様な地域や、製造業以外も含めた多様な業種への支援、また販路や代理店及び製造委託先の開拓、業務提携など個々の企業の様々なニーズに対応した海外展開支援を行います。

② 国際展開における相談・情報提供機能の提供

川崎市海外ビジネス支援センター（KOBIS）において、海外ビジネスに関する知的財産などの情報提供サービスを行います。

(4) 人材育成

① 知的財産スクールの実施(重点事業)

経営戦略に知的財産の視点を活かすための基礎的なカリキュラムで構成された「かわさき知的財産スクール」を実施し、知的財産人材を育成します。

② セミナーの実施

中小企業等を対象とする各種セミナーにおいて、知的財産に関する基本的な知識や制度改正に対応する高度な専門知識の習得など幅広いテーマでのセミナーを実施することにより多様な知的財産人材の育成を図ります。

③ 研究会の実施

中小企業における知的財産戦略の重要性への理解を深めるとともに、特許を活用した新たな事業化を進める際の問題点や具体的な解決方法等を学ぶ研究会を開催します。

④ 科学技術に関するセミナーの実施

市内に立地する大学等の研究機関の研究開発内容や科学技術に関するセミナー、フォーラム等を開催することで、先端科学技術の成果を研究者や技術者に還元し、知的財産の創造や活用に資する研究・開発を促進します。

⑤ 基盤技術の高度化やデジタル技術の活用に関する研修の実施

CAD/CAM、3Dプリンタ、ICT、デジタル技術の活用などに関する研修を実施することで、高度な技術・技能を持つ技術者などの産業人材を育成し、知的財産の創造や活用の担い手としての市内中小製造業者等の技術力の向上を図ります。

⑥ 科学技術・知的財産教育

教育現場等において、知的財産の創造の源となる科学技術に触れる機会の提供など、次代の担い手への科学技術・知的財産教育を充実します。

(5) 知的財産モラルの醸成・発信

① 身近に知的財産にふれる機会の提供

「音楽のまち・かわさき」、「映像のまち・かわさき」、「しんゆり・芸術のまち」などの取組を推進する中で、市民が音楽や映像など身近な知的財産に触れる機会を提供し、啓発を図ることで、知的財産に対する意識を高めていきます。

② 市民向け生涯学習講座の実施

市民向け生涯学習講座等において知的財産や科学技術の重要性を認識し、意識を啓発するセミナーを実施します。

③ 職員の意識向上

本市が率先して知的財産モラルの醸成・発信を行うとともに、本市が保有する知的財産の活用を積極的に図るため、本市職員の知的財産に対する意識向上を図ります。

(6) 技術移転・交流促進

① 知的財産交流会（知的財産マッチング支援）の実施（重点事業）

中小企業の新製品開発等の新事業展開を支援することを目的に、大企業・研究機関等の開放特許等の知的財産を中小企業に紹介する交流会や個別マッチングを行うとともに、

マッチング成立後の製品開発や販路開拓など製品化・事業化に向けた総合的な支援を行います。

また、知的財産交流会のネットワークを全国に広げ、各地域の産業の強みを活かしたオープンイノベーションを促進するとともに、中小・ベンチャー企業が保有する知的財産を大企業と連携して事業化するなど、双方向のマッチングを推進します。

広域連携によるマッチング事例

【事例1】川崎市の光学映像機器メーカーと郡山市のプラスチック製品用金型メーカーによる
顕微鏡を活用した新規分野での協業

【事例2】川崎市の環境樹脂の成形加工メーカーと沖縄県の一般社団法人による沖縄産ハーブ
を使用した新商品開発の取組

② 知的財産シンポジウムの実施(重点事業)

大企業、大学・研究開発機関等のシーズ活用事例などを紹介し、中小企業の知的財産活用への関心を高め、新事業展開を促進するためのシンポジウムを開催します。

③ 中小企業と大学の連携の促進

大学の研究シーズを活用した中小企業の製品開発のほか、大学の研究活動に必要な実験装置や部材等の試作開発を中小企業がサポートする「試作開発促進プロジェクト」などを通じ、中小企業と大学の双方向による交流を促進します。

④ 環境技術情報の収集・発信

臨海部を始めとした市内に集積する優れた環境技術を国内外に紹介するとともに、専門機関と連携して知的財産保護についてのアドバイスを行いながら、「川崎国際環境技術展」などを通じて、国内外への技術移転を促進します。

⑤ かわさき科学技術サロンの実施

川崎発のイノベーションを活性化し、知の交流拠点を形成し、オープンイノベーションを促進していくため、様々な組織に所属する分野の異なる研究者・技術者が互いの顔の見える交流や知的刺激を得られる場を提供するため「かわさき科学技術サロン」を開催します。

⑥ 成長分野における交流の促進

中小企業の技術力・開発力の強化に向けて、今後の成長が期待される製造技術・情報通信・環境・福祉・ライフサイエンス等の分野や、脱炭素・SDGs・デジタル化などの社会経済環境の変化に対応した分野での交流を促進します。

⑦ 中小企業とクリエイター・デザイナーの連携の促進

中小企業とクリエイター・デザイナーとのマッチング機会の提供やセミナーの開催等を通じて、高付加価値な製品づくり、効果的な販売促進などを図り、新産業の創出や新製品・新サービスの実現を促進します。

(7) 事業化支援

① ブランド化の支援

「川崎ものづくりブランド」の工業製品・技術等の認定制度、市内最高峰の匠「かわさきマイスター」の認定制度、福祉製品の独自基準「かわさき基準（KIS）」の認証などにより、優れたものづくり製品・技術の価値を高め、広めていく取組を推進します。

② 販路開拓の支援

優れた知的財産を活用した新製品など、多岐にわたる新技術や製品の展示・実演の場を提供し、企業製品及び技術力のPR・販路の拡大・商取引の促進を図るため、大型展示会の共同出展や展示会への出展支援等を行います。

③ 資金調達の支援

優れた技術やノウハウなどの知的財産を活用した事業化に要する資金調達に対応するため、信用保証協会や金融機関との協調による融資制度により支援するとともに、民間金融機関やベンチャーキャピタルとの積極的な連携を図っていきます。

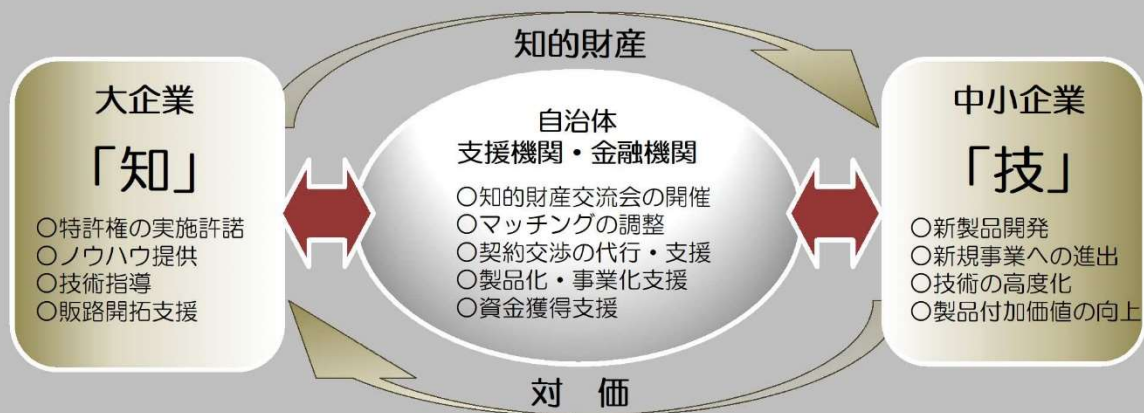
④ ビジネスオーディションの開催

様々な分野のビジネス・アイデアを公募し、優れたアイデアには信用保証協会や金融機関との協調による融資制度との積極的な連携やベンチャーキャピタル等との出会いの場の提供などの特典を付与するほか、各ステージに応じた専門家による継続的なアドバイスなどのサポートを行います。

1 川崎市知的財産交流事業

川崎市知的財産交流事業の特徴

- 大企業が所有する開放特許を中小企業へ移転し、製品開発や新事業創出を促進
- 開放特許とは、他社へライセンス可能な特許等の知的財産
- 国内特許169万件のうち、約半数の85万件が未利用
- 「自社製品を持ちたい」、「新規事業に取り組みたい」前向きな企業に最適な事業
- 中小企業が比較的安価な対価により、不足する技術を速やか、低リスクに導入可能
- 自治体、支援機関、金融機関等がコーディネート

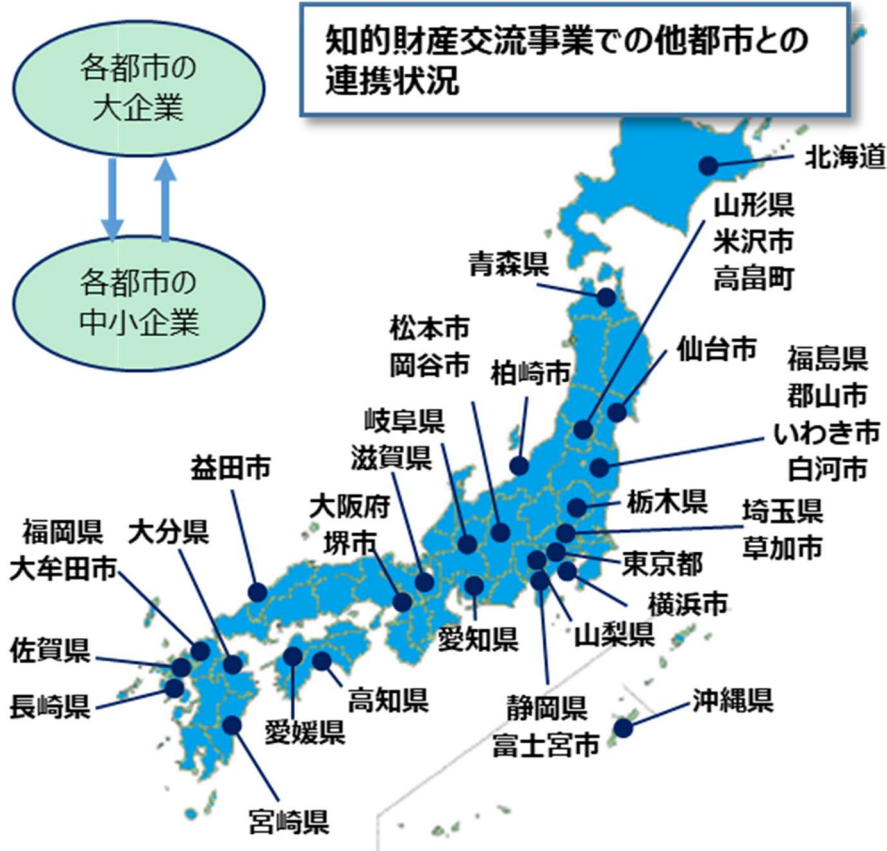


川崎市知的財産交流事業の特徴

- 地域のポテンシャルを活かしたスキーム
大企業の研究機関と元気なものづくり中小企業の集積
大企業の知財を中小企業へ移転するスキームは全国初
- 出会いの形は3方式—少人数制で“顔”の見える関係を重視
①不特定多数（オープン）型、②任意団体（クローズド）型、③個別（1対1）型
イベントの参加人数よりも実績を重視—参加人数を絞り込む法が成約の確率が高い
- 中小企業の“強み”とシーズをマッチング
中小企業のニーズではなく“強み”とシーズをマッチング、そして潜在ニーズを掘り起し
ニーズは漠然としている場合が多く、そこを求めても始まらない
- 金融機関との連携
横浜銀行、きらぼし銀行、川崎信用金庫から川崎市と川崎市産業振興財団に職員が出向
中小企業支援のノウハウ ↔ 金融機関の企業ネットワークで相互協力
- 行政が中小企業と大企業の間をきめ細かにコーディネート
場の提供に留まらず、交渉、契約、製品開発、資金獲得、商品化に至るまで一貫した支援
合言葉は“ライセンスはゴールではなくスタート”



2 知的財産交流事業での他都市との連携状況



3 知的財産交流事業における成約事例

免振台足「スウェイフット」



地震の揺れから財産を守る免振台足



確かな効果(右側にスウェイフット装着)

**ポイント！ 特許といっても必ずしもハイテク、最先端技術ばかりではない
知的財産の専門知識がなくても知財マッチングは可能**

- 【導入企業】 株式会社スタックス（川崎市中原区下沼部1750）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「電子機器の免震台足」（特許第3058364号）
- 【成約日】 平成21年1月13日付（平成20年度③）
- 【成約概要】 スタックスは、0.01t～の薄板板金加工とアルミ溶接加工を得意とする金属製品製造業者。富士通から導入した特許「電子機器の免震台足」は、阪神淡路大震災での被災の経験から生まれた免震技術で、機器類をアンカーで固定するのではなく、可動軸と可動受け皿により振動を吸収し、電子機器や家具等を転倒から守る仕組みになっている。ライセンス契約からわずか一カ月で製品化にあたり、その間に振動試験による性能評価と、記者発表、川崎市国際環境展展示まで実施した超スピード案件である。その3か月後には、LAMPブランドで知られる大手金具メーカーのスガツネ工業から全国に広く販売されており、特に東日本大震災以降、着実に販売実績を伸ばしている。

出席管理システム「かいけつ出席」



代返防止機能付きは日本初！

**ポイント！ 知財交流をきっかけに売上が急増し過去最高益を記録
出席管理システムがそれまでの200台から1,500台へ急拡大**

- 【導入企業】 株式会社アルファメディア（川崎市中原区小杉町3-264-3）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「出席管理スキャナ装置」（特許第3354094号）
- 【成約日】 平成23年4月1日付（平成23年度①）
- 【成約概要】 アルファメディアでは、大学や専門学校に向けた出席管理システムを製造・販売しているが、学校側からはいわゆる“代返”を防止する改善の声が寄せられていた。富士通から導入した特許は、机にRFIDタグを貼り、読取装置で学生証と1対1で対応させて認識するもので、同社ではこれを活用し、代返防止機能付きの出席管理システムを開発した。知財交流をきっかけに、従来製品の売り上げが好調であり、採用大学数はそれまでの6大学から44大学に、販売台数は200台から1400台と急拡大している。

フレグランスカード「アロマレフレール」



携帯できるカード型フレグランス製品



フレグランスカードのサイズ
縦54×横86×厚さ1.5(mm)

サイズはキャッシュカードと一緒

**ポイント！ 専修大学経済学部の学生との産学連携から生まれたコンシューマ製品
製品アイデアは学生からも得ることができる**

- 【導入企業】 株式会社松本製作所（川崎市中原区井田杉山町17-35）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「芳香発散装置」（特願2011-61447）
- 【成約日】 平成24年11月21日付（平成24年度③）
- 【成約概要】 プラスチック製品の射出成型加工を手掛ける松本製作所では、富士通の特許「芳香発散装置」を導入し、初の自社製品としてコンシューマー向けのカード型芳香グッズ「アロマレ・フレール」の製造販売を開始した。これは、セラミックス製の芳香チップをプラスチックカードに組み込んだフレグランス製品で、好みの香水やアロマをチップに染み込ませて、名刺入れや各種のポーチに入れて香りを楽しむことができる。現在、柄入りのデザイン6種と無地のカード6種が販売されている。

家畜健康維持飼料「フジロン」



豚のエサに振りかけるだけ



稚内産珪藻真岩「ナノソーヤロック」



チタンアパタイトと混合した「フジロン」

**ポイント！ 金融機関の職員が特許と企業の出会いをコーディネート
文系力の強みを発揮した知的財産マッチング**

- 【導入企業】 株式会社フロンティアインターナショナル（川崎市麻生区五カ田2-9-1）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「病原の感染防止方法」（特許第5076401）
- 【成約日】 平成25年5月13日付（平成25年度①）
- 【成約概要】 養豚等の畜産向け人口受精器材の輸入販売を手掛ける、フロンティアインターナショナルでは、誕生から間もない、子豚の下痢による死亡事故を改善するため、富士通が所有する「光触媒チタンアパタイト」の特許を導入し、これと稚内産珪藻真岩「ナノソーヤロック」を混合した健康維持飼料「フジロン」を製品化した。
同社との出会いのきっかけは、八千代銀行の百合ヶ丘支店長が、チタンアパタイト関連特許を同社に紹介したことにあり、金融機関との連携が知財マッチングの成約を生んだ好例である。光触媒材料を豚のエサに混合する発想は、文系ならではの発想である。

自動車生産ライン用パーツカウンター



自動車の生産ラインから生まれた特許



車種に応じて必要な数だけボルトを供給



随所にものづくりの技あり

**ポイント！ 従業員数わずか3名の企業が国内外の自動車メーカーと取引
日産自動車の特許を導入して製品化、トヨタ自動車と共同で改良・特許出願**

- 【導入企業】 株式会社マイルス（川崎市高津区宇奈根758）
- 【提供企業】 日産自動車株式会社（横浜市西区高島1-1-1）
- 【知的財産】 「部品定数供給装置」（特願2013-132176）
- 【成約日】 平成25年12月27日付（平成25年度②）
- 【成約概要】 オーダーメイド型の自動組立機や検査装置の設計、製造、設置、保守まで一貫して手がけるマイルスでは、日産自動車の特許を導入して念願の自社製品を開発した。
本装置は生産ラインにおいて、ボルトを必要な時に必要な数だけ、自動的に作業者に供給するものである。日産自動車が生産作業の改善活動の中で開発したもので、国内外の工場に展開するにあたり、マイルスがパートナーに選ばれている。
マイルスでは独自に構造を最適化し、小型・低コスト化、動作の信頼性と安全性の向上、コントロールの追加などを施し、複数の自動車メーカーへ好評販売中。

身体洗浄用石鹸「Takara Protect Soap」

お土産用
「宝養生せっけん」



外国人に人気の縁起物をデザイン
(5個セット)

アスリート・ガテン系・中高年男性向け
「川崎力」



チタンアパタイト量2倍
ニオイと汚れを協力を除去

セレクトな女性向け高級石鹸
「エステルの瞳」



死海のミネラルが
繊細なお肌をケア
ミネラル豊富な死海の泥を贅沢に配合
自分へのご褒美に

ポイント！ チタンアパタイト光触媒を配合し、洗浄力と消臭力に優れ肌にも優しい
楽天市場・Yahoo!ショッピングサイト・東急ハンズ・川崎北テラスで発売中

- 【導入企業】 宝養生資材株式会社（川崎市宮前区菅生1-19-17）
- 【提供企業】 富士通株式会社（川崎市中原区上小田中4-1-1）
- 【知的財産】 「金属修飾アパタイト材料及びその製造方法」（特許第3697608号）
「樹脂組成物」（特許第3928596号）
- 【成約日】 平成26年5月28日付（平成26年度①）
- 【成約概要】 建築養生材の販売・施工を手掛ける宝養生資材では、富士通が東京大学と開発した光触媒「チタンアパタイト」の特許を導入し、自社開発の機能性衛生水「アプリテック」と混合し、身体洗浄用の石鹸「Takara Protect Soap」を製品化した。アプリテックとチタンアパタイトの抗菌効果と吸着作用により、洗浄力と消臭力に優れ肌にも優しい特長がある。特に男性用の「川崎力」は消臭力に優れており、魚料理や釣りの後の手洗いにもお勧めしたい。

抹茶チョコ大福「エンゼルのほっぺ」



老舗の和菓子屋が知財マッチングを
通じて新商品を開発



体脂肪の低減効果が期待できる
ギルトフリースイーツ



ロイヤリティに替えて売上げの
一部を子どもたちのために寄付

ポイント！ 老舗の和菓子屋の技術と大企業の特許を融合しギルトフリーな新商品を開発
食品系知財は比較的ハードルが低く地方の食料品製造業にお勧め

- 【導入企業】 株式会社スエヒロ（川崎市川崎区東田町3-16）
- 【提供企業】 森永製菓株式会社（横浜市鶴見区下末吉2-1-1）
- 【知的財産】 「体脂肪低減剤及び体脂肪低減食品」（特許第5783552号）
- 【成約日】 令和1年9月18日付（平成31年度②）
- 【成約概要】 川崎大師のおひざもとで67年間和菓子屋を営む菓子匠末広庵では、森永製菓が保有する知的財産を活用し、体脂肪低減効果が期待できるギルトフリーなスイーツ「エンゼルのほっぺ」を新たに商品化した。今月9日から発売開始。
ふわっと抹茶の香りがする宇治抹茶クリームと、ほんのりビターなチョコレート館をふわふわの無添加・無加糖の餅で包んだ大福は癖になる美味しさ。
カカオポリフェノールと抹茶カテキンの適正な配合比率が特許の肝であり、実験では平均10%程度の体脂肪の低減効果を確認している。末広庵が運営する7つの店舗と通販サイトで購入可能。

4 新聞掲載一覧

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2018. 04. 03	日刊工業新聞	前川製作所/川崎市	大企業の試作、中小に 川崎市が受発注を橋渡し
2018. 04. 13	日刊工業新聞	川崎市	知財活用で中小振興 川崎市が新8カ年戦略
2018. 04. 24	日刊工業新聞	川崎市	自治体間連携による新たな産業振興モデルの構築を目指して
2018. 06. 22	岳南朝日	富士宮市/川崎市	今なぜ川崎モデルを学ぶのか 知的財産事業から知財マッチング企業
2018. 06. 25	日刊工業新聞	川崎市他	製品化アイデア中小に提案
2018. 06. 26	日刊工業新聞	ポリプラスチック/川崎市	中小大企業・イノベ創出に拍車 接点づくり直の交流支援
2018. 07. 11	日刊工業新聞	川崎市	川崎モデルに新展開 大手・中小の関係深める
2018. 08. 27	日刊工業新聞	川崎信用金庫	知財マッチング 大手と中小仲介 来月交流会
2018. 09. 03	日本経済新聞	八尾市/川崎市	大企業の休眠特許活用 西の八尾、東の川崎キラリ
2018. 10. 08	福島民報	福島県/川崎市	休眠特許活用へ官民組織 中小企業の製品開発支援 川崎モデルの実績も参考に
2018. 10. 12	日刊工業新聞	川崎信用金庫	開放特許活用 川崎で加速 知財交流会にクリエイター「アイデア製品化できそう」中小も前向き
2018. 11. 20	山形新聞	川崎市/山形県	大手の特許使って成長 高島置賜の製造業者ら交流 川崎市と同連絡会の連携で実施
2018. 11. 20	米沢新聞	川崎市/山形県	大手企業との連携を模索 高島町「開放特許」軸に知財交流会 川崎市のアルファメディアも成光事例を説明
2019. 01. 10	日刊工業新聞	川崎市/郡山市	「川崎モデル」の知財マッチング 福島県と郡山市で23日交流会開催
2019. 01. 24	福島民報	川崎市/郡山市	ビジネス関係構築へ 郡山でマッチング交流会 川崎の森田テックが成功事例紹介
2019. 05. 14	讀賣新聞	マイス/日産自動車	きらり企業 部品定数供給装置で夢実現 日産の「開放特許」を活用
2019. 06. 04	日刊工業新聞	きらぼし銀行/川崎市	7月に川崎市、産業他と「ICT知的財産マッチング会」開催
2019. 06. 06	讀賣新聞	ミートエポック/明治大学他	鮮魚シートに包んで熟成 短期間で簡単うま味格別 川崎北部市場水産仲卸協同組合で「熟鮮魚」

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2019. 08. 24	東京新聞	J A セレサ/川崎市他	辛くない新品種トウガラシ 「香辛子」 市の名産品に フルーツに似た香り 生食OK
2019. 10. 09	東京新聞	菓子匠末広庵/森永製菓	体脂肪抑える大福 特許技術使い完成 「エンゼルのほっぺ」 末広庵発売 抹茶とチョコ特定比率で組み合わせ
2019. 10. 09	日本経済新聞	菓子匠末広庵/森永製菓	スエヒロ、川崎の「知財交流事業」 特許で和菓子「エンゼルのほっぺ」 体脂肪低減効果、1円寄付も
2019. 10. 10	讀賣新聞	菓子匠末広庵/森永製菓	特許技術で和スイーツ 体脂肪低減効果を期待
2019. 10. 10	神奈川新聞	菓子匠末広庵/森永製菓	健康的和菓子が誕生 森永の特許×老舗の製法 初年度10万個目指す
2019. 10. 11	日刊工業新聞	ゼンク/NTT	おすすめ商品、自動提示 飲食店など向けシステム開発
2019. 11. 01	神奈川新聞	菓子匠末広庵/森永製菓	ビジネスウェブ 森永製菓の特許を活用 「ギルトフリー」な和スイーツ
2019. 12. 11	神奈川新聞	コアフューテック	かわさき商工人 介護悩み解消へ新技術 松本正己社長
2020. 02. 06	日刊工業新聞	マイクロネット/日産自動車	工場の異音・騒音 可視化 日産ライセンス活用
2020. 02. 15	福島民報	福島県	知財活用の支援策学ぶ 西郷新白河で事業者向け講演会
2020. 03. 14	讀賣新聞	アルテ	食パンでおいしく健康 コレステロール抑制素材配合 川崎の専門店 開発・販売
2020. 03. 23	日刊工業新聞	わざあり/味の素/川崎市	オリーブオイルに香り 川崎産新種ハーブ使用 広域連携で開発「香力」
2020. 03. 25	朝日新聞	アルテ	悪玉コレステロールを抑える食パン 麻生区の専門店が開発
2020. 03. 27	神奈川新聞	わざあり/味の素/川崎市	川崎の唐辛子、相模原の企業が商品化 香辛子 わざあり逸品に 辛味弱めのオリーブオイル
2020. 04. 02	神奈川新聞	わざあり/味の素/川崎市	辛味なくフルーティー 「香辛子」でオリーブオイル
2020. 04. 22	朝日新聞	わざあり/味の素/川崎市	川崎初の「香辛子」オリーブオイルに辛味抑えたトウガラシ
2020. 04. 28	日刊工業新聞	川崎信用金庫	知財マッチング推進 川崎モデルの一翼 幅広い情報網駆使
2020. 08. 13	日本経済新聞	川崎市産業振興財団	事業創造に必要な「お節介」 木村担当課長

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2020. 08. 25	福島民報	トラスト企画/富士通/ いわき市/川崎市	抗菌クッション開発 光に反応し効果 開放特許を活用 福島県支援支援事業第 1号
2020. 08. 27	日刊工業新聞	トラスト企画/富士通/ いわき市/川崎市	光触媒のチタンアパタイト 抗菌や水質 維持 富士通とライセンス契約
2020. 09. 03	福島民報	トラスト企画/富士通/ いわき市/川崎市	「知的財産」活用 企業が成果発表 県 マッチング支援事業
2020. 09. 04	福島民友	トラスト企画/富士通/ いわき市/川崎市	抗菌新製品3種類 いわきの企業開発 県マッチング支援第1号
2020. 09. 26	朝日新聞	吉田ジェラート	川崎「香辛子」ジェラートに
2020. 09. 26	神奈川新聞	まんまm i y u	香味野菜から香り抽出 爽やかなフレー バー演出 「香辛子」を使ったオリーブ オイル香力
2020. 09. 29	読賣新聞	川崎市他	「香辛子」目指せ川崎名物 市が開発、 普及促進 シロップ、ジャム…商品続々
2020. 10. 15	読賣新聞	崎陽軒	香辛子×杏仁ソフト ハロウィーン限定
2020. 10. 15	東京新聞	崎陽軒	トウガラシトッピング 杏仁ソフト販売 辛さ控えめ「香辛子」
2020. 11. 20	静岡新聞	川崎市産業振興財団	川崎モデル清水でも 知的財産中小に紹 介 櫻井亨氏が講演
2020. 12. 04	日刊工業新聞	松本製作所	マスクに好みの香り付け クリップ・ケ ース発売
2020. 12. 04	神奈川新聞	松本製作所	ビジネスウエーブ マスクの収納に安全 と癒しを マスククリップ&マスクケー ス
2020. 12. 07	東京新聞	菓子匠末広庵	音楽文化振興団体に川崎の末広庵が寄附 「エンゼルのほっぺ」などの売り上げの 一部、6万円
2021. 01. 11	日刊工業新聞	マイス/川崎市産業振興財 団	大企業の開放特許 市内中小とマッチン グ 川崎モデル、全国展開狙う
2021. 02. 08	東京新聞	パティスリーエチエンヌ	川崎生まれ香辛子+チョコのスイーツ バレンタイン向け11日から150本限 定販売
2021. 02. 10	読賣新聞	パティスリーエチエンヌ	チョコサラミ大人の辛さ 香辛子使用限 定販売
2021. 02. 11	神奈川新聞	パティスリーエチエンヌ	「香辛子」を使ったスイーツ 香辛子チ ョコレートサラミを発売
2021. 02. 12	朝日新聞	パティスリーエチエンヌ	川崎の新種トウガラシを使用 チョコッ とピリリ 香辛子チョコレートサラミ

掲載日	新聞社名	企業名	内 容
2021. 02. 24	日刊工業新聞	川崎市産業振興財団/川崎市	地方創生で討論会 知財活用を紹介 「地方創生オープンイノベーションフォーラム～a f t e rコロナを見据えた川崎モデルの新展開に向けて～」開催
2021. 03. 19	日刊工業新聞	川崎市産業振興財団/川崎市	双方向で特許を活用 「地方創生オープンイノベーションフォーラム」
2021. 03. 28	神奈川新聞	川崎市他	川崎発「香辛子」全国へ 普及目指し苗を販売 新種の唐辛子

川崎市知的財産戦略推進プログラム

— 2022（令和4）年度～2025（令和7）年度 —

川崎市経済労働局経営支援部経営支援課
